



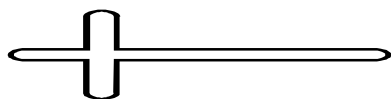
独立行政法人 国立国語研究所

第33回「ことば」フォーラム

後援：福岡県教育委員会・福岡市・福岡市教育委員会・西日本新聞社

映像作品から話しことばを考える

国語・日本語教育の現場で



平成 19 年 11 月 2 日 (金) アクロス福岡

1 時 30 分

< あいさつ・趣旨説明 >

国語教育の現場での活用を考える

中神 智文 (福岡県立朝倉高等学校)

(40 分)

日本語教育の現場での活用から応用を考える

清 ルミ (常葉学園大学)

(40 分)

< 休憩 15 分 >

映像作品の活用と可能性について考える

杉戸 清樹 (国立国語研究所)

(30 分)

3 時 45 分

【ディスカッション】

中神智文・清ルミ・杉戸清樹・野山広 (司会)

< 4 時 30 分 終了 >

質問は、同封の「質問票」に記入して、休憩時に係にお渡しください。

会場内で、刊行物の展示と販売をおこなっています。

お帰りの際、同封の「アンケート」に御協力ください。

講師紹介

中神 智文（なかがみ ともふみ）福岡県立朝倉高校教諭

福岡県に採用され朝倉高等学校に赴任の後、平成9年度から2年間筑波大学修士課程教育研究科に内地留学、また平成15年度から3年間文化庁文化部国語課に勤務。現在、進路指導主事を務める。

最近の寄稿論文には、「国語に関する学習意欲と学習習慣」（『日本語学』2006年10月号、明治書院）、「高校での国語表記の再確認」（『月刊国語教育』2007年8月号、とうほう）などがある。

専門は国語教育（古典）、文化庁勤務後は国語表記の問題についても関心が高い。

清 ルミ（せい るみ）常葉（とこは）学園大学外国語学部教授

経済産業省・EU委合同プログラム管理職対象日本語文化研修責任者を兼職。

米国国務省日本語研修所教官、早稲田大学講師などを経て現職。2004-2006年、NHKテレビ日本語講座「新にほんごでくらそう」講師。地域における日本語支援は高校時代から始める。ニューヨーク HB Studio にて演劇を学ぶ。現在、多文化関係学会理事、日本語教育学会評議員。2005年日本語教育学会奨励賞受賞。

主な著書に『Crash Course Japanese for Business』、『ビデオ教え方のコツ』、『創造的授業の発想と着眼点』（以上アルク）、『コミュニケーション教育の現状と課題』（共著：英潮社）最近の著書に『優しい日本語』（太陽出版）、『新にほんごでくらそう』（NHK日本語講座テキスト）、『異文化コミュニケーション研究法』（共著：有斐閣）、『講座日本語教育学 第4巻 言語学習の支援』（共著：スリーエーネットワーク）、『敬語表現教育の方法と実践』（近刊、共著：大修館書店）などがある。

専門分野は、異文化コミュニケーション学、日本語教育学。

杉戸 清樹（すぎと せいじゅ）国立国語研究所所長

名古屋大学大学院修士課程修了。

昭和50（1975）年から国立国語研究所研究員。言語行動研究部長、日本語教育部門長を経て、平成17（2005）年から現職。国立国語研究所の言語生活研究・社会言語学的調査研究に従事し、国内の地域社会、企業、学校等における敬語や方言の臨地調査に携わってきた。また、日本とドイツの言語行動の対照研究や、韓国・ブラジル・ベトナムにおける日本語事情調査にも参加した。

主な論著に『企業の中の敬語』『学校の中の敬語』『言語行動における日独比較』、『言語行動における〈配慮〉の諸相』（共著：いずれも国立国語研究所報告）、『デイリーコンサイス漢字辞典』（共著：三省堂）等がある。

中央教育審議会国語部会委員、文化審議会国語分科会臨時委員、NHK放送用語委員等を務めるとともに、日本言語学会委員、日本語学会評議員、（前）日本語教育学会会長等の学会役職も兼ねる。

専門分野は、言語行動論、社会言語学。

「ことばビデオ」
国語教育の現場での活用を考える

福岡県立朝倉高等学校
教諭 中神智文

2008/2/12 1

はじめに

- プレゼンテーションの目的

「ことばビデオ」の
国語教育の現場での活用の可能性

2008/2/12 2

自己紹介

- 中神智文

昭和63年度福岡県採用
平成9年度～10年度筑波大学大学院内地留学
平成15年度～17年度文化庁文化部国語課勤務
平成18年度～福岡県立朝倉高等学校勤務

2008/2/12 3

勤務校紹介

- 福岡県立朝倉高等学校

福岡県朝倉市甘木876
1908年開校、次年度創立100周年
普通科8クラス1学年320名
校訓「聡明・自立・敬愛」
国公立大学進学現役生100名程度

2008/2/12 4

学校生活

2008/2/12 5

小説教材での活用

- 芥川龍之介「羅生門」
- 文字言語と音声言語との違い
- より深い読解のために

2008/2/12 6

授業の内容

- 「日本語の音声に耳を傾けると」第1話
- 文字言語と音声言語との情報差指摘
- 音声や映像の持つ情報量
- 上記を踏まえての文字言語の読解

2008/2/12

7

授業風景

2008/2/12

8

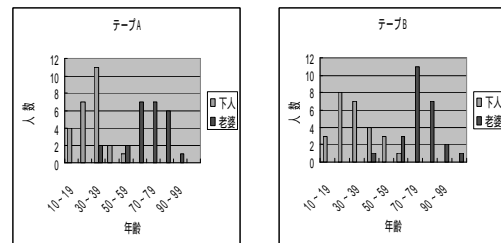
朗読テープ聞き分け

- 「羅生門」朗読テープ
- 登場人物の年齢
- せりふに対する印象

2008/2/12

9

テープ別印象年齢



2008/2/12

10

「きっとそうか」

- | | |
|-------------|-------------|
| ■ テープA | ■ テープB |
| 納得 | 気が狂い始めている |
| 怒っている感じ | 喜んでいる感じ |
| 憎しみ | 少し嬉しそう |
| 自分のすることを決めた | 決心できて嬉しそう |
| 念を押すような感じ | 何かたからみがある感じ |
| 自分に言い聞かせる | 心中で吹っ切れた感じ |
| ばかにしている | 自分が上だと思う |

2008/2/12

11

第2話・第3話の活用

- | | |
|-------------------|----------------|
| ■ 第2話 | ■ 第3話 |
| 宮沢賢治「永訣の朝」 | 外来語の表記 |
| あめゆじゅとてちてけ
んじゃ | メリケン
ヴァイオリン |

2008/2/12

12

「日本語の音声…」の感想 1

- 平成18年度
3年生文系120名の自由な感想

第1話・・・68
第2話・・・71
第3話・・・21

2008/2/12

13

第1話について

私もよくメールを送ることがあるけれど、文章だけだと自分の思っていることを相手に伝えるのはとても難しいと思う。いつも普通になにげなく使っている言葉だけど本当は不思議なことがたくさんあるんだなと思った。

2008/2/12

14

第2話について

私は方言が激しいほうで、中学まではよかったけど、高校に入っているんな地区の友達ができ、話が通じないことがありました。福岡の友達は初対面のとき、私の方言の口調がこわいと言っていました。ビデオのように使い分けられるようにした方がいいのかなあと思いました。

2008/2/12

15

第3話について

- 普段、意識しないで使っている日本語だが、客観的に見てみると、一つの言葉に様々な意味があるのがわかった。方言も多種多様でおもしろかった。あらためて方言は独特の日本語だと思い、日本の文化だと思いました。外国人が日本語を話しているときは、何かつまりながら話していると思ったが、「っ」や「ー」などが発音しにくいからああいう風な話し方になっているんだと初めて知った。

2008/2/12

16

番外

まず第一に、日本語はすごく奥が深くおもしろみがあり、趣深いものであるなと思いました。そして、東京の人のしゃべる言葉はすごく美しく、福岡の人にとってうらやましいと思いました。しかし、なぜ東京の人の言葉が標準語なのでしょう？くやしくてたまりません。そしていたたまれません。

2008/2/12

17

知りたいこと 1

- 自分が使っている方言と標準語の違い
- 日本語の成り立ち
- 若者言葉
- 外国語の方言
- 日本語と外国語との比較
- 離れた場所なのに同じ特徴なのはなぜ

2008/2/12

18

知りたいこと 2

- 方言、羽越本線で鶴岡に行きたい
- だれが日本語を作ったのか
- 「雲」と「蜘蛛」のアクセントの違い
- 標準語をしゃべりたい
- 甘木の方言

2008/2/12

19

「日本語の音声…」の感想 2

- 平成19年度
3年生文系123名の感想
第1話・2話・3話別

2008/2/12

20

感想例

- 1 (1) ひとつの言葉でたくさんの意味にとれるということが分かっていてことではあるけど、改めて考えさせられた。
(2) 「九州(福岡)の方言は東京などの人には恐ろしく聞こえる」というのを聞いていたので、方言の違いというものはイントネーションが重要なものと思っていたけど、言葉の発音の仕方にも重要な点が多いことを知った。
(3) 私たちは生まれたときから日本語を使っているので分からないが、日本語というのは世界でもかなり難易度の高い言語らしいので、やはり外国人には難しいものであると思う。
- 2 (1) 最近の若者が使っている言葉が伝わりやすいものなのかどうか？
(2) 違う方言の人が話すときに起こりやすい誤解とは？
(3) 外国人のための日本語の学校ではどのように教えているのか？
- 3 日本語は奥が深いと思いました。まだまだ私たちも使いこなせていないのでは・・・と思います。

2008/2/12

21

授業風景

2008/2/12

22

更なる活用に向けて

- 課題
 - ・手元にないと使えない
 - ・内容や活用法が分からない
 - ・高校生にも知的好奇心がわく内容に

2008/2/12

23

「映像作品から話しことばを考える 国語・日本語教育の現場で」

日本語教育現場での活用から応用を考える

清 ルミ（常葉学園大学）

発表内容の概要

- 1) まず、「日本語教育の現場」を次の3種でとらえる。
 1. 外国人対象
 2. 日本人学生対象
 3. 日本語教師養成課程・受講者対象

- 2) 上記の3つの対象に、発表者の映像作品を利用した教育実践を順に紹介する。

ポイント	は	学習目的
		方法
		学習効果と応用の方向性、今後の課題

教育実践内容

1. 言語表現に着目
 - ・「NHK新にほんごでくらそう」

2. パラ言語に着目
 - ・「気持ちや意図を伝える音声」『ことばビデオ』5

3. パラ言語以外の非言語面に着目
 - ・『男はつらいよ・寅次郎相合傘』第15作
 - ・『オールイン』

資料 1 非言語コミュニケーションとは

- 1) パラ言語 (音声的要素・周辺言語) - 声の質、トーン、声の表情、間の取り方、
沈黙の意味づけなど
- 2) 身体動作 (顔の表情、ジェスチャー、姿勢、歩き方など)
- 3) 視線接触 (アイコンタクト、注視時間、方向、まばたきなど)
- 4) 体物表現 (身体的特徴、服装、色彩、装身具、持ち物、化粧など)
- 5) 身体接触 (触れ合い方、タッチングなど)
- 6) 時間概念 (待ち合わせ、予定の立て方など)
- 7) 嗅覚表現 (香りや匂いの意味づけ、使い方など)
- 8) 空間のとらえ方 (対人距離、ウチソトの感覚、座席の取り方、縄張り意識など)
- 9) 自己開示の領域
- 10) 贈答習慣 (もの、金銭のやりとり)
- 11) ジェンダーのとらえ方

資料 2 非言語コミュニケーションの重要性に関する研究結果

- ・バードウィステル (米) 同文化圏 2 名の会話
非言語伝達手段によるメッセージ量 65 - 70%
- ・メラーピアン (米) 英語での伝達
感情の統計 (顔のみ) = 言葉 7% + 音声 38% + 顔 55%
- ・佐藤 (日) 日本人の感情伝達
好意の統計 = 言葉 8% + 音声 32% + 顔 60%

以上

映像作品の活用と 可能性について考える

国立国語研究所
杉戸 清樹

1

あらまし

○ 映像はどんなものごとを伝えるか？

言葉を用いたコミュニケーションで、
言葉以外のものごと、多くを伝えている。

そのことに、あらためて気が付き、
考えるきっかけを映像が与えてくれる。

映像作品の可能性を、そこに求めたい。

2

紹介する事例

話す人の映像から、声を消したとき、
何が気になるか？ 何を読み取るか？

国語研の調査事例

(テレビドラマ映像を提示する方法)

映像作品を見ると、言葉以外のものごとが
注目され、意識化される。

「ことばビデオ」を活用した授業事例

3

【紹介事例1】

話す人の映像から、声を消すと……

場面A: マンションの廊下。

・若い女性がエレベーターから走り出て、
待っていた年配の女性と肩をぶつめた。

・若い女性が振り返って謝るのに対して、
年配女性が言葉を発した。

質問: 年配女性は何と言ったでしょうか？

4

大多数の回答者が、「気を付けなさい」と
いう叱責・注意を読み取った。 = 正解

そう読み取った手がかりが、映像にあった。

質問: そう言ったと考えた手がかりは？

年配女性の 表情 (冷静で厳しそう)

” 姿勢 (相手に向き直る)

” 服装 (和服を着ている)

(国語研1999「ビデオ刺激による言語行動意識調査」から、
国内・海外[韓・仏・米・伯・越]のべ990人対象。)

5

謝りつつ、懇願している男性の……

場面B: 事務所の窓口カウンター

・背広・ネクタイ姿の男性が、窓口の女性に
汗をぬぐい、頭をくりかえし下げながら、
一生懸命そうに語りかけている。

質問: この男性は、何をして(言っ)ている
ように見えますか？

6

多くの回答：「困っている」「謝っている」
「何かを頼んでいる」 = どれも正解

実際は：
自分のミスでパスポートを紛失した。
仕事で必要なので再発行して欲しい。

回答の手がかり
動作： 何度も頭を下げている。
汗をふきながら話している。
表情： 窮状を訴えるような顔つき。

7

話す人の映像から声を消しても...

その人が、
どんな種類の言語行動をしているか
どんな種類の言葉を発しているか
大きくはズレることなく推測できた。

その推測の手がかりとして、
表情・姿勢・動作などの非言語行動。
(その場の状況、社会通念などにも支えられて)

8

紹介事例2
「ことば」ビデオを活用した授業実践例
(東京・目黒第八中での事例から)

○ 第2巻『コミュニケーションの丁寧さ』の活用
中学3年・敬語学習の導入時にビデオ視聴

↓

○ 「丁寧さ」を表現するものごとへの気付き
敬語以外の言葉遣いや、
言葉以外のものごとに生徒が注目

(平成19年度文化庁国語問題研究協議会
松村由紀子氏講演・松林陽子氏授業担当)

9

「ワークシートに記入された気付きや注目の例
「道を尋ねられて教える」映像の中に

「丁寧さ」として生徒たちが注目したものと(抜粋)

自分が知らない時は、
・知っていることだけを教えた。
・「お役に立てなくて」と謝った。

相手の様子に応じて、
・説明途中で「わかりますか?」と確認した。
・図や絵を使って教えた。
・身振り(美容院)や指差しなどをして教えた。
・騒音を避けて、目的地近くまで同行した。

10

ビデオ作品全体を見たあと：
「コミュニケーションの丁寧さとは?」

○ もちろん語尾のおだやかな「です」「ます」は
必要だが、同時に、説明するときは必死に
伝えることも丁寧さだと思う。

○ 言葉だけでなく、頼む時に頭を下げる、挨拶
の時も頭を下げる、謝る時も頭を下げる。

○ 相手の目を見て話を聞き、あいづちを打った
りするのも丁寧さだと思う。
(いずれも生徒の記入したワークシートから)

11

紹介した事例から：
一つのまとめ

言葉を用いたコミュニケーション場面で、
言葉以外のものごとも多くを伝えている。
<叱責> <窮状> <謝罪> <懇願>
<丁寧さ> <分かりやすさ>

そのことに、気が付いたり、再確認したり、
考えたりするきっかけを、映像が与えてくれる。

映像作品の可能性を、そこに求めたい。

12

話し言葉コミュニケーションの手段・媒体
言葉だけでなく.....

言語	言語形式・表現内容・働きかけの種類...
副言語	声の調子(速度・大小・硬軟...) イントネーション, 間(ま) 伝達道具(電話・携帯・スピーカー...)
非言語	身体動作(姿勢・視線・表情...) 身体距離(向き・相互距離・接触...) 人工物(服装・装飾・もてなし・家具...)

映像作品は, これらの多くを提示しうる。

13

映像作品を読み解く <言語活動>
「見る」ことの重要性

3領域(話す・聞く, 読む, 書く)と異なる,
一つの言語活動領域として「見る」が重要に。

- ・ Viewing という学習・指導の領域
- ・ 豪州・カナダ・韓国などで学習領域化。

学校教育でのメディア・リテラシー

高度情報化, マルチメディア化の進む社会で
不可欠の言語活動領域になっている。
映像作品を, そうした視野で活用したい。

14

【参考文献】

国語研1999 『ビデオ刺激による言語行動意識調査報告書 分析編』(文部省
科学研究費補助金「新プロ日本語」第2班, 非売品)

松村由紀子2007 『「ことば」ビデオを活用した学習指導の実践(報告)』(文化庁
平成19年度国語問題研究協議会講演資料)

菅谷明子2000 『メディア・リテラシー 世界の現場から』(岩波新書)

井上尚美編修代表・芳野菊子編2003 『国語科メディア教育への挑戦 第4巻
中学・高校編』(明治図書)

藤森裕治2003 『国語科教育における映像メディアの教育内容: メディア・
リテラシーの視点から』(国語科教育 第53集)

『日本語学』特集 2002年10月号 『メディアリテラシーとことば』(明治書院)

同 2005年6月 『特集テーマ別ファイル(6)』T関連

15